

【北海道初】外国人ドライバー高度育成確保計画

海外現地法人間 CONFIRMATION LETTER に基づく国際育成モデルを構築
— 年間5名、5年間で25名の高度育成ドライバー確保を計画 —

タカハシグループの網走バス株式会社（代表取締役社長 小澤 友基隆）は、登録支援機関である株式会社 3eee と協力し、インドネシア現地日本語学校および Hino Motors Sales Indonesia との間で締結された CONFIRMATION LETTER に基づき、路線バスドライバー育成に関する連携体制を構築いたしました。

本取り組みは、海外における事前教育と受入後支援を一体化した育成モデルとして北海道初の事例となります。

■ 背景

地方路線バスは、地域住民の生活を支える重要な公共インフラです。

しかし慢性的なドライバー不足が続き、持続可能な運行体制の確立が喫緊の課題となっています。網走バスはこれまでも海外人材を活用してまいりましたが、今後は「量の確保」から「質の向上」へと戦略を進化させ、より安全性と専門性を兼ね備えた人材育成モデルの確立を目指します。地域インフラを維持するという社会的使命のもと、本取り組みを推進してまいります。

■ 取り組みの概要

現地法人間の CONFIRMATION LETTER に基づき、以下の独自育成体制を構築します。

① 大型車両専門運転訓練（現地実施）

- ・実車による高度運転訓練
- ・試験場での技能評価
- ・日本基準を想定した適性確認

② 安全運行技術研修

- ・公共交通水準に基づく安全教育
- ・危険予知、事故防止プログラム
- ・エコドライブ研修

③ 日本基準特化型教育

- ・日本道路交通法基礎
- ・接遇、ホスピタリティ研修
- ・積雪寒冷地運転に関する理論教育

■ 数値目標

- ・年間5名の高度育成ドライバー受入れ
- ・5年間で累計25名の確保を計画
- ・本取り組みを計画的かつ持続可能な人材育成モデルとして推進してまいります。

■ 今後の展望

本モデルを通じて、

- ・ 即戦力人材の安定確保
- ・ 事故リスクの低減
- ・ 地域住民の安心向上
- ・ 持続可能な地域交通インフラの確立

を実現し、北海道における新たな公共交通人材育成モデルとして発展させてまいります。



【報道関係の方のお問い合わせ先】

網走バス株式会社 専務取締役
明神 健太 (みょうじん けんた)
電話：(直通) 090-3397-2596
(総務) 0152-43-4104